



人にやさしく
自信をもって
ふるさとを愛し
たくましく

学校のめあて

心豊かでたくましく
自ら学んで未来を創る

グリーンカーテン撤去

今年の夏は過去最高を大きく上回る圧倒的な暑さでしたが、比地小学校のゴーヤのグリーンカーテンが日差しを遮り、ランチルームに涼をもたらせてくれていました。10月に入ってからの朝夕の冷え込みで葉が弱ってきて、蔓も部分的に枯れ始めてきました。そこで10月16日（月）の朝、植え付けを行った6年生が公民館の方々に手伝っていただきながら、グリーンカーテンの片付けを行いました。ゴーヤの蔓がネットに絡まって外しにくい部分もあったのですが、お互いに声を掛け合いながら協力できたので、30分程度の短時間で作業を終了させることができました。お疲れ様でした。



あいさつ

17日（火）の全校集会で、『あいさつ』の効果についてのお話をしました。『あいさつ』は漢字で書くと『挨拶』と表され、『挨』は「自分の心を開く」、『拶』は「相手の心に近づく」という意味があるそうです。つまり、あいさつをするということは「自分の心を開き、相手を認め、相手の心に近づく」ということになります。あいさつをしたのに返事がないときに嫌な気分になるのは、相手に自分が認められていないと感じるからです。あいさつとは、自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為です。だからこそ、互いの関係が良くなるのだと思います。

あいさつの中で校長先生が好きな言葉は、『おはよう』と『ありがとう』です。朝の交通指導の時、大きな声で「おはようございます」とあいさつされると、どんなにしんどい時でも元気が出て一日頑張ろうという気持ちになります。また、校門付近の掃除をしている時、「ありがとう」と言ってくれたり、ボランティアで手伝ってくれたりすると、校門だけでなく心もきれいになったようなすがすがしい気持ちになります。いつでも、どこでも、場に応じた気持ちのよいあいさつができる、そんな人になってほしいなあと思います。